

国道の横に軒を連 ねた火葬場

微粒子の電子が行き交う新しい時代。

瞬間で取り残されてしまう。

真っ暗闇へ続く落とし穴は

街を出歩けばほぼ隙間なく広がっている。

例えば上を求めれば求めるほどに。

ひたすらに追いかけるのではなく

視点を変えてみよう。

とてつもなく難しいことだけど。

源を探すのだ。

・・・・・・・・・・きっとそこには揺るぎない希望だの
夢だの愛だの・・・・・・・・・・があるだろう。

先っぽを追いかけていたら

きっとどこかの壁に

頭ごと突っ込んでいるのが落ちだろう。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。